

要請番号 (JL25123B02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パナマ	G157 日本語教育		個別	交替 8代目	2年	・ 2024/2 ・ 2024/3 ・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

経済財務省

2) 配属機関名 (日本語)

パナマ工科大学語学センター

3) 任地 (パナマ県パナマ市) JICA事務所の所在地 (パナマ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

理工系大学であるパナマ工科大学に1999年に設立された語学センター。同大学の学生だけでなく、広く一般市民に開放し、青少年の受講生も多い。同センターは受講者から徴収する授業料にて運営されている。現在、英、独、仏、中、葡、日の6言語のコースが開講され、日本語は現地教師3名、及び隊員により、初級、中級コースが実施されている。日本語の受講生は現在約80名で、英語コースに次いで受講生が多く人気がある。日本語授業はクラスにより、対面、オンラインで実施され、対面の平日コースは週2回夜間(18時～21時)、土曜日コースは日中(午前部、午後部それぞれ4時間)に行われている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同配属先には、これまで長期・短期隊員合わせて8名を派遣してきた。これまでの協力により、初級レベルについては3名のパナマ人教師が十分担当できるまでになっている。初級レベルを終え、さらに学習を続けたいという受講生があるものの、同パナマ人教師では中級レベルの授業対応はまだ難しく、初級を終えた受講生が学習継続を断念せざるを得ないケースも出てきていた。現在、活動中の隊員により中級コースが再開され、約15名の受講生が在籍し学習継続をしているが、継続的な中級コースの開講、パナマ人教師のレベルアップ支援、及びコース発展、ひいては日本語学習者の増加への協力が求められ、本要請が出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 受講生への日本語授業実施(主に、中級クラスを受け持つ)。
- パナマ人教師のレベルアップのための助言、サポート(教案サポート、教材作成や指導方法にかかる支援)。
- 日本語コースに関連する、日本文化紹介、日本語弁論大会などのイベント企画・実施サポート。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、教務机、テレビ(50インチ、PC接続可)、DVD再生機、その他授業に必要な器具、日本語の各種教材「みんなの日本語」他、マンガ等書籍。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:語学センター長は50歳代男性。直接関係するパナマ人教師は、40歳代男性2名(日本語能力試験N2レベル)、20歳代女性1名。40歳代男性2名のうち1名は、中米・カリブ日本語教育ネットワーク主催の年次セミナーに複数回参加、日本語コース主任。

活動対象者:パナマ人日本語教師3名、受講生。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（日本語教育に関する資格）

[性別]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・ 関連文化イベント等への支援要望あり。

・ 配属先から青年層の隊員派遣の希望あり。

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：パナマ人教師への指導に必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（25～35℃位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】